

単元名 調べ方と整理のしかた

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 資料の分類整理の仕方や表のまとめ方を理解し、2つの観点から事象を整理し、表にまとめることができる。
- (2) 資料を観点別に整理する方法を考え、表を活用して問題解決を図ることができる。
- (3) 身の回りの事象について問題を見いだし、資料を分類整理して、表を用いて表そうとする。

標準的な展開例

04040301_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 資料を2つの観点で調べる。[p.60～p.63]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「1週間のけが調べ」の記録を見て、調べられる内容について話し合う。 単元の学習課題をつかむ。 ★2つのことがらについて調べる場合の整理のしかたを考えていこう。 「1週間のけが調べ」を1つの観点で分類整理した表を見て、分かったことを考える。 2つの観点で分類整理した表を見て、そのよさに気付く 表を見て、問題に答える。 <p>2 2つの観点から分類整理した表を作り、考察する。[p.64・p.65]</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題をつかむ。 ★2つのことがらを表にかいて調べよう。 けがの種類と体の部分に目を付けて、記録を表にまとめる。 どのようなけがを体のどの部分にした人が多いかを読み取る。 「練習問題」に取り組む。 <p>3 分類整理した表から問題点を読み取り、その改善策を考える。[p.66・p.67]</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題をつかむ。 ★3つの表からよみとれることを調べて、安全な学校生活をおくることについて話しあおう。 3つの表から読み取れることを確認し、よりよい学校生活を送るための方法を話し合う。 「練習問題」に取り組む。 <p>4 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p.68・p.69]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「たしかめよう」に取り組む。 学習の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を分類整理することで、事象の傾向や特徴が分かりやすくなることをつかませる。 表がたくさんあると分かりにくく、調べにくいことをつかませる。 2つの観点で分類整理した表は分かりやすくその便利さに気付かせる。 表の横と縦を見ることで、けがをした場所と種類を簡単に見付けられることに気付かせる <p>【評】資料を2つの観点で分類整理した表から読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分類整理する際に、落ちや重なりのないように注意させ、合計の数で確かめさせる。 前時の表を想起させ、1つの表にまとめる必要性をもたせる。右下の合計が2倍にならないようにさせる。 <p>【評】表にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他にも表から気付いたことを読み取らせる。 身の回りから、必要な2つの事柄を調べ、2つの観点から分類整理した表を作らせる。 1か月のけが調べの記録を、2つの観点で分類整理した表を確認する。 読み取ったことに対し、その改善策を考えさせる。 <p>【評】3つの表から読み取れることを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたり、表にかいたりする際に、コンピュータを使ってもよい。 <p>【評】身の回りから調べたいことを決めて、2つの事柄を表にかく活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 <p>【評】問題に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ方と整理の仕方について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

第3学年までは、文字情報として得られる「質的データ」や数値情報として得られる「量的データ」について簡単な表に分類整理することや、棒グラフなどを用いて大小を比べることを学んできている。

第4学年では、目的に応じてデータを集めて分類整理し、特徴や傾向に着目して、適切なグラフを選択して表すことで判断したり、結論について考察したりすることができるようになることをねらいとしている。また、その過程でデータを2つの観点から分類整理した二次元の表に表して分析したり、時間変化に沿って得られた「時系列データ」について折れ線グラフに表して、時間的変化を分析したりできるようになることをねらいとしている。

この内容は、第5学年での円グラフや帯グラフの学習の素地となるものである。また、折れ線グラフに表し

たり，読み取ったりすることは関数的な関係を捉えることにも通じるため，「変わり方」の学習にも関連している。